

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点について、所見を伺うことです。



高橋 克英 議員

2025年国勢調査の結果について……………4～5



長崎 厚 議員

感震ブレーカーの普及促進について

……………5～6

議会の会議録はホームページでご覧になれます

長万部町ホームページトップ → 町議会 → 会議録 からお入りください。

長万部町役場ホームページ

<http://www.town.oshamambe.lg.jp>

— 高橋 克英 議員 —

2025年国勢調査の結果について

(町長) 今後のまちづくりを検討する 上で十分に活用する

高橋 国勢調査は、国の基幹統計として5年に一度行われる極めて重要な調査である。その調査結果は、都市計画や防災対策、少子高齢化対策など、いろいろな政策を策定するための資料となり、民間企業でも、製品やサービスの需要予測や店舗等の立地計画など、幅広く活用される貴重な資料となる。

そこで、次の点について伺う。

①2025年国勢調査結果に基づく人口についての町による分析、将来展望について。

②今後の地方交付税算定の見通しについて。

③本町の計画における根幹・基本となる「まちづくり総合計画」などに対する影響について。以上、町長の所見を伺う。

町長 1点目の将来展望については、産業別や移動人口の就業状態等、詳細な分析集計値が確定するのは来年の春以降であるが、現在までに公表

されている長万部町の速報値は、5,310人となっている。

この数値は、前回の調査結果より約200人の増であり、新幹線工事関係者や、前回調査時にコロナ禍で休止していた東京理科大学の学生が大きな要因と分析している。

しかしながら新幹線工事関係者については、定住人口ではないため、今後の各種工事の進捗状況に左右されるものの、長期的な将来展望としては、人口減少が進むと予想している。

2点目の今後の地方交付税の見通しについては、普通交付税の算定は人口を主要な測定単位の一つとして用いている。

このため、今回の国勢調査で当町の人口が増加したことは、地方交付税を増加させる要因の一つになるものと考えている。今後の交付額については、国勢調査人口以外にも、国の地方財政対策などが影響することから、現時点で具体的な見通しを申

し上げることが難しいと考えている。

3点目のまちづくり総合計画などに対する影響だが、現在の第4次長万部町まちづくり総合計画について、社会情勢等の変化を一部反映させ、令和8年度から令和12年度までの後期計画として、本年3月に改訂したところである。

国勢調査は、重要な基幹統計であり、今後のまちづくりを検討する上で十分に活用していく必要があるが、今回の人口増加が新幹線工事関係者等の一時的な流入によるものであるとすれば、総合計画をはじめとする各種計画や施策を直ちに変更することは適切ではないと考えている。

一方で、全国的な少子高齢化により、当町も将来的に人口減少は避けられない状況であると認識しており、今後の人口動向を見極め行政需要に与える影響を検証していく。

高橋 国勢調査は住民票がなくても算定される

のか。また、住民票がなくとも算定される場合、どのような要件なのか。

まちづくり推進課長

国勢調査は住民票の有無に関わらず、基準日の10月1日現在で既に3か月以上住んでいる方、または3か月以上住む予定の方については、住民票が町外にあっても実際に居住している市町村の人口として算定されることになっており、新幹線工事関係者や理科大学が住民票を町外に置いたまま長万部町に3か月以上居住している場合には、国勢調査上は当町の人口として算定される。

高橋 北海道新幹線工事関係者による一時的な人口増であり、将来的には人口減少が進むとの認識だが、今後の具体的な対策などは考えているのか。

まちづくり推進課長

後期のまちづくり総合計画の主要施策と連動する第三期長万部創生総合戦略を本年3月に策定した。その中で地方創生の取組

や人口減少等への主な対応として、移住希望者向けのお試し移住事業や、地域おこし協力隊制度を活用した定住化の促進、東京理科大学との連携など、人口減少の緩和、関係人口の創出・拡大、これをめざすべく各種施策に取り組んでいるところである。

高橋 全国どこの市町村も人口の減少は大きな問題となっている。わが町は北海道新幹線長万部駅開業に向け準備を進めており、いろいろな面で千載一遇のチャンスと考えるが、これを生かした人口の増、まちづくりをどう考えているのか。

町長 町の将来展望を見据えた場合、新幹線開業までに行う事業、そして新幹線開業後に行う事業の2つを考えていかなければ、長万部の発展は見えてこない。

特に、開業後の新幹線貨物ターミナル構想については、国にも要望を届けているが、先日発生した静狩・豊浦間の土砂災

害では、8月27日から9月10日までの間、貨物列車も止まり、物流が滞った。それは在来線だけでなく、解決できる問題ではなく、新幹線貨物が北海道の物流を支えるもうひとつの大きなツールにならないければ駄目だと考えている。

長万部町に貨物の物流拠点を作ることにより、企業や定住人口が増えていく可能性は十分にある。新幹線の開業は残念ながら2030年には叶わないが、想定される2038年までの国勢調査で、工事関係者などを含め、今回の人数よりさらに上乗せできれば、今後のまちづくりにも大きく繋げていくことができると考えている。



長万部町の町並み

— 長崎 厚 議員 —

感震ブレーカーの普及促進について

(町長) 広報紙などを活用した
周知・啓発を検討する

長崎 これまでも大きな災害が幾度となく発生してきた。近年も大規模な地震が多発しており、様々な二次災害が発生し、より大きな被害をもたらしている。その二次災害のなかでも、通電火災による被害が多発している。と聞いている。

その通電火災の被害を減らし防ぐためには、感震ブレーカーを設置し、発災時に家屋等への通電を止めることが重要と考える。

「災害に強いまちづくり」をいっそう推進していくため、感震ブレーカーの存在と効果を町民に周知・啓発する場が必要と考える。

また、高齢者世帯、障がい者のいる世帯、乳幼児のいる子育て世帯に対しては、優先して設置すべきと考える。住民一人ひとりが生涯を安心して、健やかに暮らせる「まち」の実現をめざすとの観点から町長の所見を伺う。

町長 感震ブレーカーは、地震の揺れを感じて電気を自動的に遮断することで、地震後の通電火災を防止するための有効な対策のひとつであると認識している。

大規模な地震が発生した場合には、建物の倒壊や家具の転倒などによる直接的な被害に加え、地震により破損した電気配線や電気機器などから出火する通電火災、さらには、木造密集地域等における延焼火災などの二次災害も想定されることから、これらの被害を防止することが重要であると考ええる。

このため、町民の皆様は、感震ブレーカーの仕組みや効果を知っていただき、地震への備えのひとつとして活用していただくことは、防災意識の向上を図る上でも重要であるとして認識している。

町としては、町広報紙やホームページ、防災出前講座などの機会を活用した、感震ブレーカーの有効性や設置についての

周知・啓発について、今後検討したいと考えている。

また、高齢者世帯や障がいのある方がいる世帯、乳幼児のいる世帯など、災害時において特に配慮を必要とする世帯への設置についても、重要な視点であるとして認識している。

今後、地震・火災対策に関する他自治体の取組なども参考にしながら、感震ブレーカーの普及促進について検討し、引き続き災害に強いまちづくりに取り組んでまいりたい。

長崎 感震ブレーカーについては、町広報紙などで周知・啓発を進めるとの答弁だが、あわせて町として、購入・設置に対する補助制度を設ける考えはないのか。

町長 感震ブレーカーについては、防災装置としてまだ馴染みが薄く、全国の自治体でも補助事業を行っているところは多くはない。

そのため、まずは感震ブレーカーの有用性を、

防災出前講座などを通じて町民の皆様は周知徹底していく必要があると考えている。

一般的に感震ブレーカーは、震度5以上でなければ作動しない仕組みになっており、価格は高いもので大体8万円くらい安いものなら5,000円から3,000円くらいである。

町では過去に火災報知器を配付・設置したことがあるが、

その後、各家庭が負担し更に

新しすぎる所は多くはなく、

消防本部でも広報誌などで啓蒙活動

をしているが、なかなか進んでいないのが現状である。

感震ブレーカー


感震ブレーカーの主な種類


① 分電盤タイプ	② 簡易タイプ	③ コンセントタイプ
 分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感じ、主幹ブレーカーを自動的に遮断します。	 既存の分電盤のブレーカーに取り付けて、揺れを感じるとブレーカーを遮断します。	 コンセントに差し込んで使用し、揺れを感じるとコンセントへの通電を停止します。
特徴 ● 住宅の分電盤を交換するだけで設置できる ● 家全体の電気を一括で遮断 ● 後付けも可能なタイプが多い	特徴 ● 既存の分電盤の後付けできる ● 比較的、手軽に設置できる ● 電気工事が必要な場合がある	特徴 ● 工事不要で簡単に設置できる ● 特定のコンセント回路を遮断 ● 家電の保護に適している

💡 感震ブレーカーは、地震による電気火災を防ぐための有効な機器です。

感震ブレーカー

の普及については、まず自分の財産は自分で守るという考えを基本とした上で、今後、国の補助制度が整備されるような状況になれば、地方自治体としても財源の手当がしやすくなるが、現在はまだその段階まで至っていないと考えている。

まずは、町民の皆さんに感震ブレーカーのシステムを知っていただくことから進めていきたい。



議会の本会議を
YouTubeで配信！

議場へ足を運ばなくても、自宅や外出先でも本会議を傍聴できるよう、インターネット（You Tube）にて中継を実施しています。
チャンネル登録をしていただくようお願いいたします。



PC、スマホ、タブレット等から議会の映像がご覧いただけます

YouTubeで

長万部町議会

を検索してください